

2023年11月24日

各位

ENEOS株式会社

「森林を活用した脱炭素社会の実現」に関する連携協定の締結について ～北海道森町・日本生命と共同で森林由来J-クレジット^{※1}を創出します～

ENEOS株式会社（社長：齊藤 猛、以下「ENEOS」）は、北海道茅部郡森町（町長：岡嶋 康輔、以下「北海道森町」）、日本生命保険相互会社（社長：清水 博、以下「日本生命」）と森林を活用した脱炭素社会の実現に向けた連携協定（以下「本協定」）を締結しましたので、お知らせいたします。

本協定においては、北海道森町が保有する豊富な自然資源を利用した森林由来のJ-クレジットを創出・活用します。ENEOSおよび日本生命は、創出されたクレジットを購入し、両社の事業活動におけるCO₂排出量をオフセットします。また、北海道森町は、ENEOSおよび日本生命と連携しつつ、クレジット売却益を森林整備事業に充て、森林の持つCO₂吸収能力のさらなる活性化を目指します。

ENEOSグループは、Scope 1、2^{※2}のCO₂排出量を2030年度までに2013年度対比46%削減するという目標の達成に向けて、森林由来のJ-クレジットを創出し活用する取り組みを推進することで、「エネルギー・素材の安定供給」と「カーボンニュートラル社会の実現」との両立に向けて挑戦します。

今後も、3者共同で、健全な森林の育成を通じて森林の持つ多面的な機能の維持・増進に積極的に取り組んでいくとともに、業種の垣根を越えて、森林の循環利用による脱炭素・循環型社会の形成に貢献してまいります。



<調印式時の写真>

日本生命 中島執行役員（左）
北海道森町 岡嶋町長（中央）
ENEOS 須永常務執行役員（右）



<北海道森町の全景写真(森町提供)>

※1 J-クレジットとは、省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO₂等の温室効果ガスの排出削減量や、適切な森林管理によるCO₂等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度。本リリースでは、適切な森林管理によるクレジットを、森林由来のJ-クレジットと称する。

※2 Scope 1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出（燃料の燃焼、工業プロセス）
Scope 2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

<プロジェクトの概要（申請予定）>

1. 対象森林	町有林（約4,300ha）
2. 認証対象期間	16年間
3. 森林区分	天然生林、育成林
4. CO ₂ 吸収量	約0.5万トン/年規模